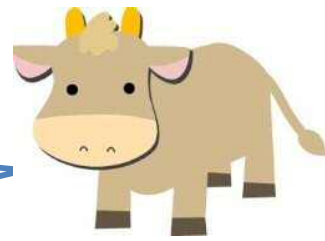


子牛の下痢予防プログラム



下痢から守ってね!

分娩
1ヶ月前
(母牛)

母牛にワクチンを接種 生後10日前後の下痢に有効

牛下痢5種混合ワクチン…大腸菌, ロタウイルス, コロナウイルスに有効
牛大腸菌ワクチン…大腸菌症に有効 (注射)

分娩
2週間前
(母牛)

母牛に駆虫剤を投与

イベルメクチン製剤 (例: アイボメクトピカル, サイデクチンポアオン等)
…腸内の線虫, ダニ, シラミやサシバエに有効 (背中に塗る)
(概ね1ヶ月前でも有効である)

牛舎を消毒して, 清潔な分娩室を準備

- ・牛舎内の糞や敷料を外に出し, ブラシ等で水洗してから消毒
- ・コクシジウム対策には, 熱湯やスチームクリーナーによる消毒も効果的
- ・母牛を駆虫してから2~3日後に, 消毒した分娩室に母牛を移動

お産

お産に立ち会って, 子牛の処置

「へそ」「母牛の乳首」を必ず消毒

- ・「へそ」にイソジン液等の噴霧。2~3日続けると, なお効果的
- ・子牛が初乳を飲む前に, 母牛の乳首の洗浄・消毒徹底

子牛が初乳を飲んでいることを確認

- ・初乳は, 分娩後6時間以内に飲ませる
- ・母牛(初乳)からの給与が困難な場合は, 初乳製剤及び整腸剤等を利用
(初乳製剤 例: さいしょのミルク, カーフサポートダッシュ等)
(整腸剤 例: ビオスリー, ポバインペースト等…経口投与で腸を守る)

生後14日前後
(子牛)

駆虫剤を投与 (1回目)

イベルメクチン製剤 (例: アイボメクトピカル, サイデクチンポアオン等)
(背中に塗る)
トルトラズリル製剤 (例: 牛用バイコックス等…コクシジウムに有効)
(飲ませる)

<状況に応じて対応>

- ・血便がひどい時: 獣医師に相談し, サルファ剤 (例: エクテシン液等) を3日間投与 (飲ませる)
- ・寄生虫の濃厚感染: イベルメクチン製剤 (例: アイボメクトピカル, サイデクチンポアオン等) を離乳前に塗る (背中に塗る)

1. 下痢予防プログラムの実施に当たっては, 担当獣医師に相談しましょう。
2. サルファ剤等は, 獣医師の指示・処方箋に基づいて使用して下さい。
3. 駆虫剤は, 用量・用法を守って使用して下さい。
4. と畜場に出荷する場合, 休薬期間 (使用禁止期間) を守って下さい。